

持続可能な地域創造ネットワーク

2022年度 全国大会

日程 2023
2/8[水]・
2/9[木]

会場 武蔵野大学有明キャンパス
(東京都江東区有明三丁目3番3号)
&オンライン・ライブ配信

持続可能な地域創造ネットワークは、持続可能な地域を目指す自治体と NGO/NPO、専門家・教育関係者等の、相互の支え合いを目的とした団体です。各種協働プロジェクトや情報交換などにより、持続可能な社会の実現を地域から目指し、活動を展開しています。年1回の全国大会では、会員内外の参加者がフラットな討議を行っています。

プログラム

1日目 2/8		
12:00	受付開始	
13:30	全体会	開会あいさつ 論点整理
14:45	グループセッション(3 テーマ)	
17:15	名刺交換会	
2日目 2/9		
10:00	全体会	グループセッションの成果共有 地域創造ネットの活動成果報告
13:00	全体会	各地からの話題提供 パネルディスカッション
15:50	閉会式	

1日目(2/8)20:00～オプションセッション(オンラインのみ)
「ESDとSDGs ツーリズムによる地域活性化」

グループセッション

A	持続可能な地域づくりを実現する 人材と組織
B	日本の地域社会版持続可能性指標 の議論・作成
C	ゼロカーボンシナリオ検討の実践

パネルディスカッション

～“持続可能”なメガネをかけ直そう～
環境×経済×社会の統合的取組、人材育成やコー
ディネートの実践活動の事例に学びながら、
持続可能な地域づくりに向けて何を大きく転
換するのか、何を手放すのか、パネリストや参
加者とのディスカッションを行います。

お問合せ



持続可能な地域創造ネットワーク 事務局

Tel 03-3263-9206 または 075-211-3521

Mail sdigies.net@gmail.com

1日目 グループセッション

持続可能な地域づくりを実現する人材と組織

統合的・転換的アプローチを実現するために、「マネジメントを担う人と組織はどうあるべきか」、さらに必要とされる「マネジメントを担う人の育成システムはどうあるべきか」。先進事例の分析結果と具体的な提案を報告し、実践に向けた意見交換を行います。

日本の地域社会版持続可能性指標の議論・作成

「自治体の持続可能性評価指標づくりプロジェクト」での検討経過を下敷きに、これまでリストアップされた指標群について参加者全員で自由に議論し、実際に使える持続可能な地域創造ネットワーク版の「持続化可能な社会指標」をまとめます。

ゼロカーボンシナリオ検討の実践

名古屋大学が気候政策担当者向けに開発した「ゼロカーボン地域シナリオ分析ツール」を実際に用いて、ゼロカーボンを実現するためのCO₂削減目標の見極めや目標達成のためのポリシーミックスを検討します。

※ノートパソコンをご持参ください。持参できない方は事前にご相談ください。

2日目 全体会 話題提供&パネルディスカッション

持続可能な地域の実現には、地域の将来ビジョンを描き、そこに至るために必要なアクションを洗い出して共有し、実践する人々を繋ぐことが必要です。そのためには、従来の慣習や思考法を抜け出すこと、モノの見方を変えること、つまり「メガネをかけ直す」ことが必要になるでしょう。新たなメガネを手にして動き出した地域から、その実践例とプロセスを学びます。

話題提供

環境×経済×社会の統合的取組、人材育成やコーディネートの実践活動の事例

明石修（武蔵野大学准教授）、上山隆浩（西粟倉村地方創生推進室長）、岡本圭司（北栄町副町長）、

宮崎紗矢香（国立環境研究所対話オフィスコミュニケーター）、山口美知子（東近江三方よし基金事務局）

パネルディスカッションと総合討論 「“持続可能”なメガネをかけ直そう」

パネリスト：話題提供者5名

コーディネーター：白井信雄（武蔵野大学）・小澤はる奈（持続可能な地域創造ネットワーク事務局）

参加費

- ① 現地参加 会員 5,000 円、非会員 10,000 円
- ② Zoom 参加 会員 3,000 円、非会員 5,000 円
- ③ Youtube 配信（視聴のみ） 正会員・非会員 1,000 円

※専門家・教育関係者の所属校の学生は、Youtube 視聴無料

申込方法

専用フォームへの入力（<https://forms.gle/TTBKwkBWYfJf3u7S9>）

または別紙申込用紙を事務局あてにメール提出

締切：宿泊あり→12月27日（火） 宿泊なし→1月20日（金）